

	牧師 山本護	司式 青柳均	奏楽 山本恵美
前 奏	黙想		祈 禱
頌 栄	539 あめつちこぞりて		讃 美 歌 272 ナザレのふせやに
祈 禱			献 金
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書	創世記 1:1 ヨハネによる福音書 4:23~24		主の祈り 564 頌 栄 544 あまつみたみも
讃 美 歌	292 はてしも知れぬ		祝 禱
説 教	『いのちの水を飲む』 長崎 哲夫 牧師		後 奏

イエス・キリストは、死海の西北端クムランの共同生活と厳格な律法主義、禁欲と靈的犠牲重視のエッセネ派と見られたバプテスマのヨハネから受洗した(ヨハ 1:29)。場所はエリコから見て「ヨルダン川の向こう側」、ネボ山を仰ぐ水の豊かなベタニア(1:28)。此処にはヨハネ伝中もう一度、冬のエルサレム神殿奉献記念祭の朝、イエスの「神の子メシア」発言(10:22)でユダヤ人の怒りをかい命の危険を逃れてこの地に避難している(10:40)。それとは別に、エルサレムに近いもう一つのベタニア(貧しい者の家の意)があり、一行はラザロの復活、給仕するマルタ、高価な香油をイエスに塗るマリアの出来事が報告されている(11:1-12:11)。

さて、ヨハネはサリムのアイノンで、イエスはユダヤのヨルダン川でそれぞれ洗礼運動をしたが、イエスはヨハネの弟子よりも多くの人に洗礼を授けているとファリサイ派が知ったことを耳にしてガリラヤに行くべくヨルダン川に沿う道でなく、尾根伝いサマリア経由の道を通った(4:3)。川の道にファリサイ派、山の道にはサマリアといずれも厄介なことだった。何故ならユダヤ人とサマリア間に歴史的拘りがあり、ソロモン以来南北に分裂した歴史(BC922)もだが、BC538年ユダヤ人のバビロン捕囚をペルシャのクロス王がエルサレム帰還及び神殿と石垣の修復を赦した。この時サマリアの兵士を指揮したサンバトが補修妨害事件を起こし、両者の関係は破綻していた(ネヘミヤ 3:33)。

その日、イエスはゲリジム山の麓シケム(ナブラス)からやや下った所のヤコブの井戸の傍らに疲れて休んでおられた。真昼だったので誰もおらず、弟子たちも昼を買いに出ていた。すると其処へ一人のサマリア女性が水を汲みに来たのでイエスは「水を一杯飲ませてくださいと」と乞うた。イエスは此処で彼女からユダヤ人とサマリア人問題、生きた水のこと、先祖ヤコブ問題を真剣に問われた。イエスは彼女に6人目の同棲者がいたことを明らかにさせ、彼女にたった今真実に生きることを促して、「神は霊である。父はこの様な礼拝する者を求めておられ、神を礼拝する者は霊と真理とをもつべき」とし、遂に父なる神はゲリジム山でもエルサレムでもなく、霊と真理とをもって礼拝することを示してキリストの福音の豊かさを如何無く伝えた。シケム(ナブラス)は面白い町だ(創 12:8、33:18、ヨシユ 24:32)。イエスの福音は、此処から世界に向かって広く発信した。この福音は、「わたしの食べ物とは、わたしを遣わされた方のお心を行い、その業を成し遂げることである」(4:34)と。

「神の霊が水の面を動いていた」(創 1:2)とあった。モーセは水から引き上げられたマーシャで、彼は手を海に伸べてエジプトを出(出 14:16)、ヨルダン川からカナン入りを目指したが、メリバの水を主の恵みであったことを見落として(民 20:12)、かの地に入れなかった(申 32:48)。数多い井戸を掘ったアブラハムの子イサクの嫁リベカ(創 4:18)も彼女の次男ヤコブの愛したラケル(創 29:1)も井戸端で出会った。アンモン人の水の町ラバを攻めたヘト人ウリヤの留守中水浴するバト・シェバを見たダビデ(IIサム 12:24)もだが、福音書はカナ(2:1)でもベトサダ(5:1)でも水の救いを展開した。真実の救いは、人を変える力だ。(長崎哲夫牧師の説教要約)

本日の説教は長崎哲夫牧師。長崎牧師には奇数月の第四主日の礼拝で説教をお願いしています。今日午後 2:30~3:50 山梨英和学院を覚えて祈る会(甲府教会)。1/23(月)10:00~11:30 八ヶ岳教会の甲府聖書研究会(山梨 YMCA)、使徒言行録を継続して読んでいます。1/25(水)11:00~12:00 聖書研究・祈祷会(教会集会所)。聖書研究会はゼミナール形式で、学び合っています。気軽にご参加ください。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。